AISIN
We Touch the Future

AISIN SHIROKI Health Management Report 2026

2026年9月14日
アイシンシロキ㈱　総務部

Challenge for Change　当たり前を疑う

AISIN SHIROKI CORPORATION

【健康宣言】

AISIN
We Touch the Future

アイシングループ健康宣言

アイシングループは、かけがえのない社員が、
心身ともに健康で、実り豊かな生涯を送ってほしいと願っています。
社員の健康は、会社全体を活性化させ、会社の持続的な成長にも
繋がると考えます。
経営理念に掲げた『移動に感動を　未来に笑顔を』を実現するために、
すべての仲間が、健康で、わくわくと仕事に取組み、
働きがいや人生の幸せを感じ、個々の強みを発揮できることを
目指します。

・私たちは、自らの健康へ関心を持ち、仲間とともに、
　健康維持、増進に努めます。
・私たちは、健康で、個々の強みを発揮できる会社風土を醸成し、
　笑顔あふれる未来を創ります。

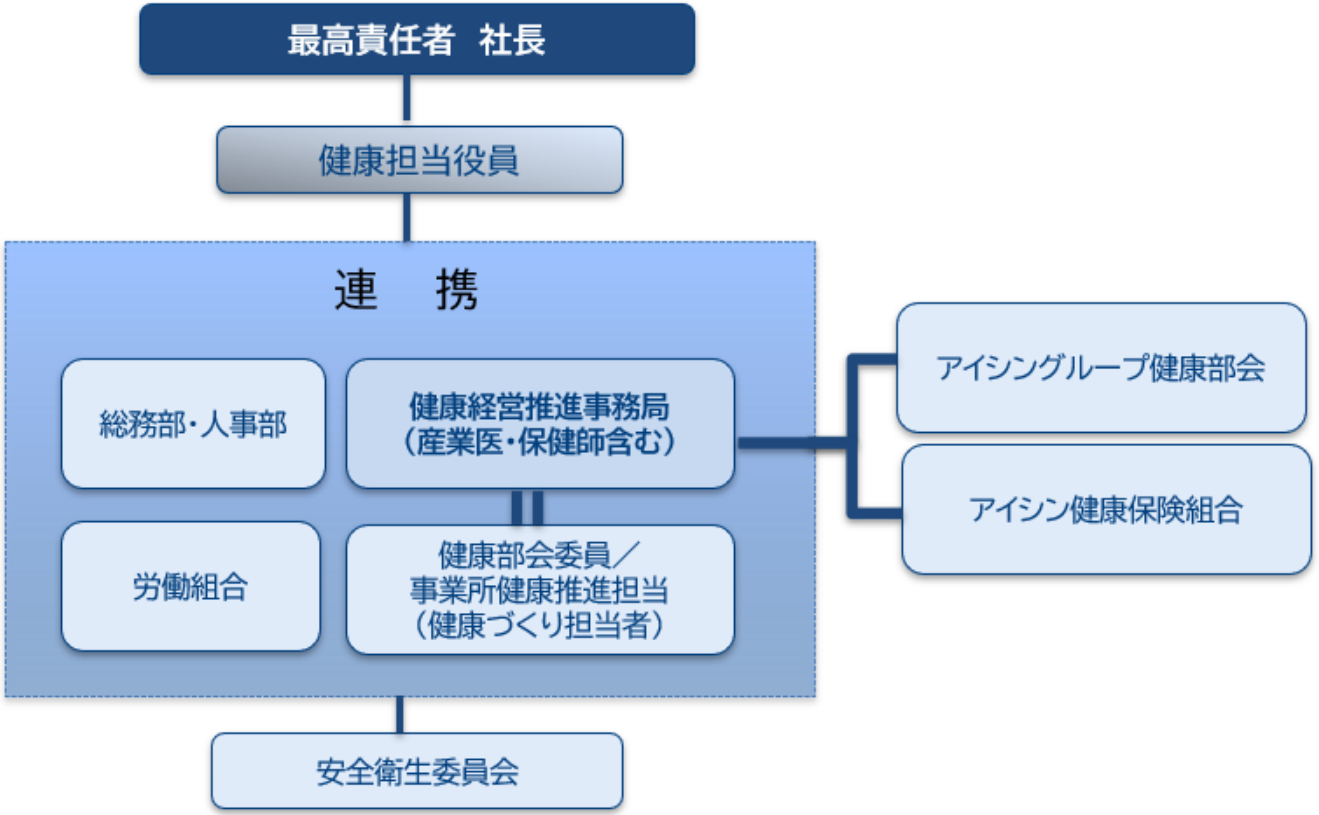
2026年　9月　14日
アイシンシロキ株式会社

取締役社長　小~山　一人

アイシンシロキでは、従業員の健康管理に戦略的に取り組むことを内外に表明するため、2021年8月以来、社長が「健康宣言」を掲げ続け、健康経営の取り組みを継続しています。

「健康宣言」は
従業員の健康を経営の
重要テーマと捉え、
健康経営を推進していくための
基本方針として
位置づけられています。

【健康経営推進体制】



当社は、アイシングループ健康宣言のもと、社長および健康担当役員を中心とした推進体制で健康経営を進めています。

健康経営推進事務局が産業医・保健師・各部門と連携し、計画から実行・改善まで一体となって取り組むことで、組織的かつ継続的な健康づくりを推進しています。

こうした取り組みが評価され、当社は「健康経営優良法人認定制度」において、2024年より健康経営優良法人として3年連続で認定を受けています。

2026
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門

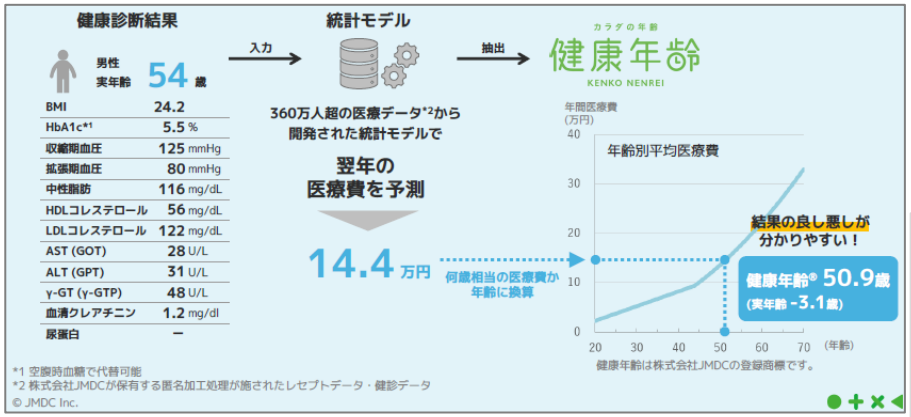
【健康経営戦略マップ】

従業員の健康を経営の重要なテーマとし、様々な健康投資を進めています。
経営方針と連動した取り組みを通じて、より健やかに働ける職場づくりを目指します。

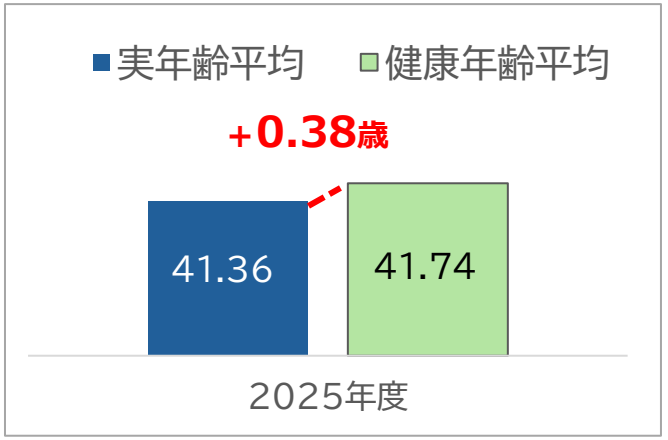
KGIとした健康年齢とは

健康診断での健康状態を年齢に置きかえて示す指標です

会社で実施する定期健康診断の結果から、カラダは何歳相当なのかを統計的に判定します。
健康年齢が高いほど、生活習慣病リスクや将来の医療費が高騰するリスクがあることを意味します。
健康年齢は360万人分の健診データと医療費(*2)の統計モデルから開発されました。



健康年齢実績



※2025年　健保で健診結果登録完了者のみで集計しています。全データの反映は出来ていないため、最終実績は多少結果が異なります。

※算出に必要な健診項目(12項目): BMI、収縮期血圧、拡張期血圧、中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール、AST(GOT)、ALT(GPT)、γ-GT(γ-GTP)、血糖(HbA1cまたは空腹時血糖)、尿たんぱく、血清クレアチニン(血清クレアチニン以外は必須項目)

適正体重を保つ・適度な運動・健康的な食生活などを促し健康年齢改善を目指します。

健康関連の目標指標　KPI

⑴健康風土醸成

- ヘルスリテラシー肯定回答率
- ストレスチェック　総合健康リスク
  120以上の高リスク職場数

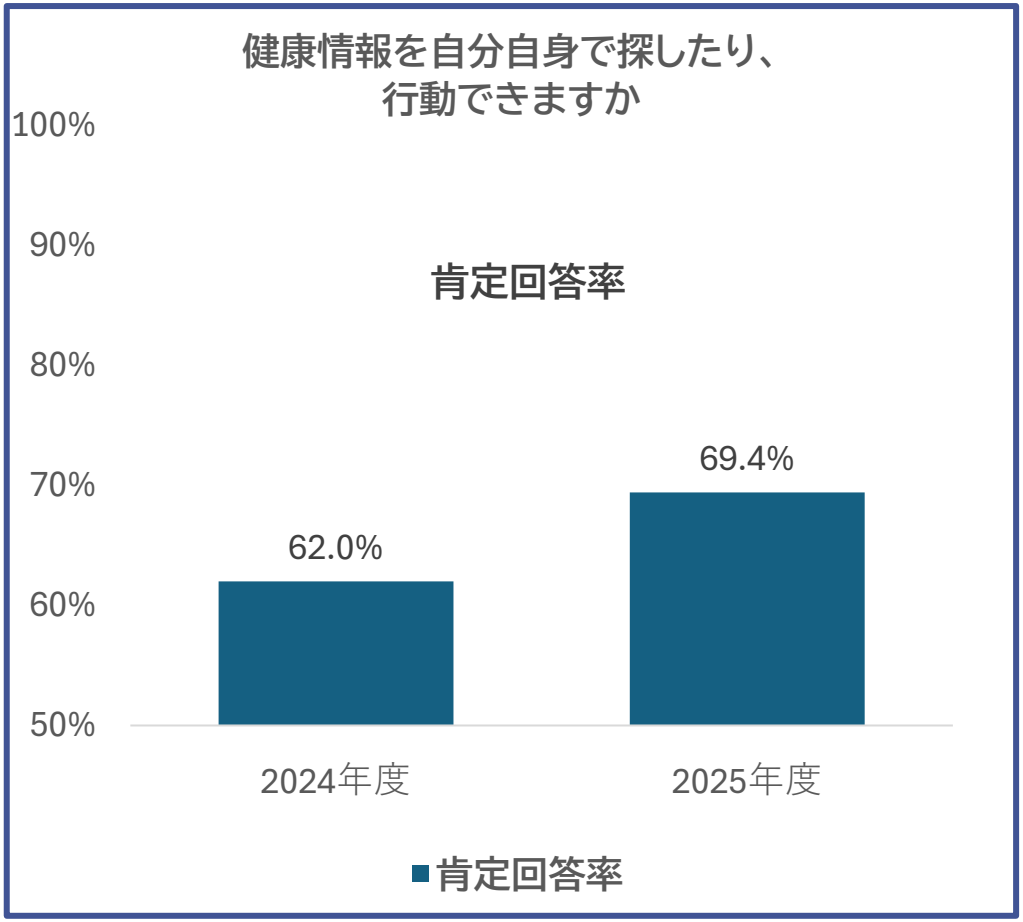
⑵健康課題への対処

- BMI25以上の割合
- 喫煙率
- 新規メンタル発症率
- プレゼンティーイズム

2030年度の目標に向け、
健康指標を基に改善を進めています

従業員のヘルスリテラシー向上を目指します

◇ヘルスリテラシーとは、「健康に関する情報を入手・理解し、適切に判断・活用できる力」のことを指します。



2025年度 各種施策実績

健診関連受診率

内容	対象	実施率
定期健康診断受診率	全従業員	100%
精密検査受診率	基準該当者	66.3%
特定保健指導実施率	40歳以上基準該当者	85.5%
ストレスチェック受検率	全従業員	95.1%
任意健診(がん)受診率	35歳と40歳以上	59.9%

女性の健康教育　受講状況

内容	対象	受講率
女性の健康・ラインケア教育	基幹職昇格者	100%

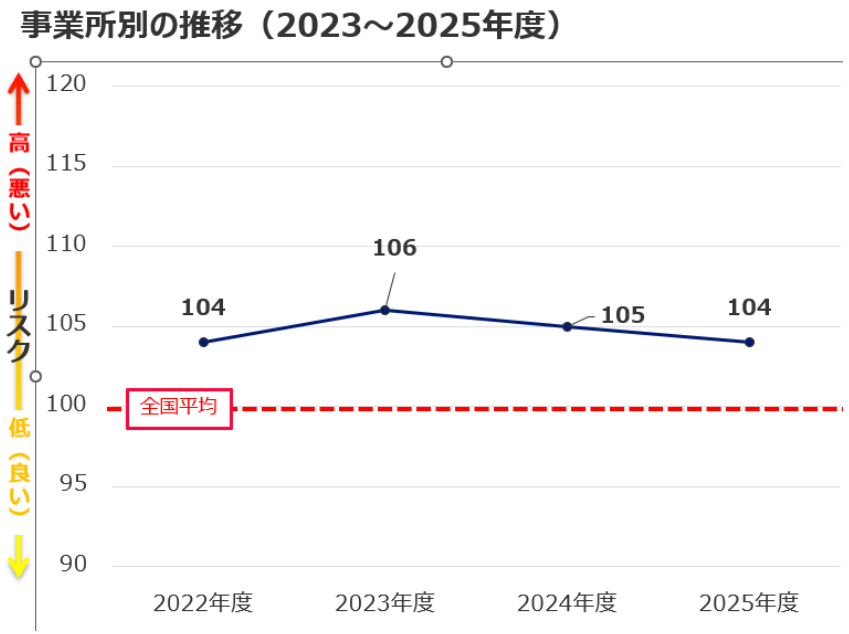
◇この他、メンタルヘルス教育、全従業員に向けた健康教育、新入社員教育などを実施しています。

(1)健康風土醸成の取り組み

いきいきと働ける職場を目指して　健康リスク改善活動

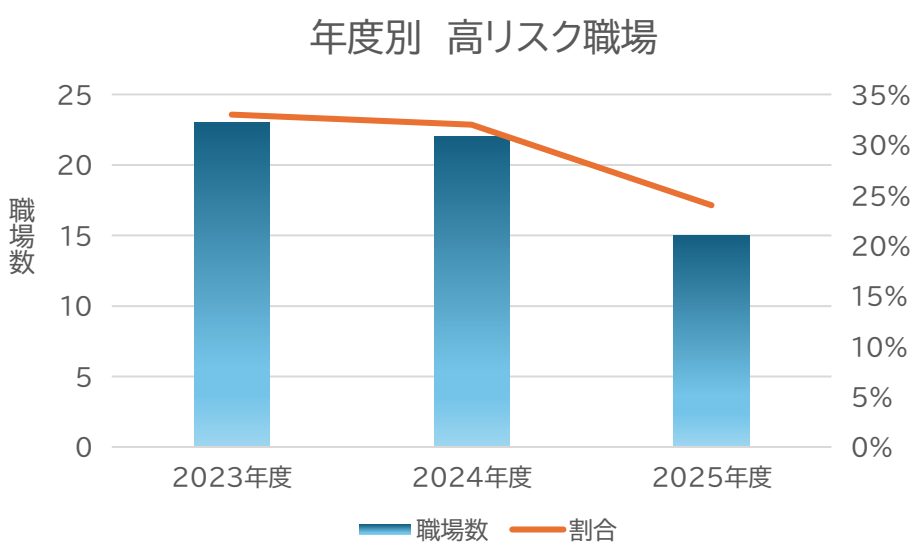
春に全従業員を対象に実施しているストレスチェックの結果を小集団分析し、職場診断結果を各職場へフィードバックすることで、職場のストレス要因の「見える化」する活動を2022年より開始しました。
職場の課題を「見える化」することにより、職場の健康リスク意識を高め、自分事として職場主体の改善活動への行動変容に繋げています。

ストレスチェック総合健康リスク



※ストレスチェック受検率　　95.1%（2025年度）

健康リスクの高い職場を改善するため
「ストレスチェックにおいて総合健康リスク120を超える職場を高リスク職場として特定し、課題の分析、改善計画の立案、現場との対話を通じた対策の実行など、継続的な改善活動を実施しています。



⑵健康課題への対処

具体的な取り組み

肥満(BMI25以上)改善活動

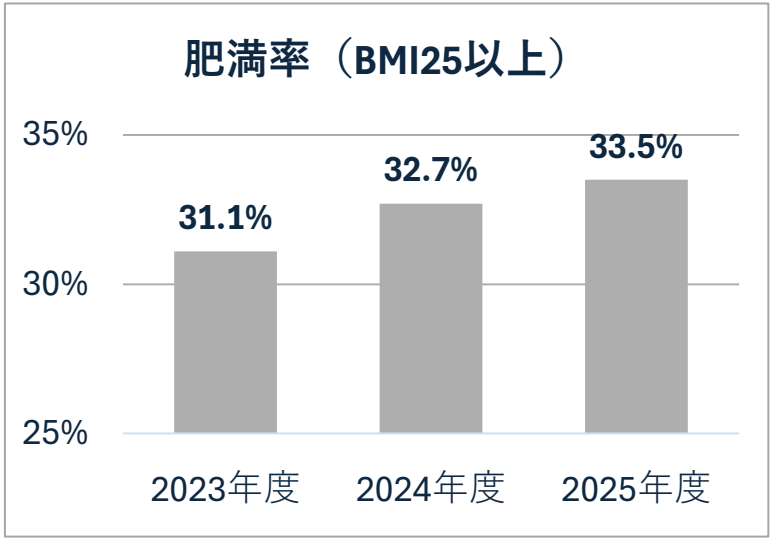
BMI25以上となると生活習慣病のリスクが高くなります。
体重が継続して増加した人は、その翌年も増加し続ける傾向があるため、2年連続1kg体重増加者を対象に管理栄養士等による手紙や面談等の支援を実施しています。
また、メタボ健診による特定保健指導対象者への面談支援を毎年80%以上実施しています。

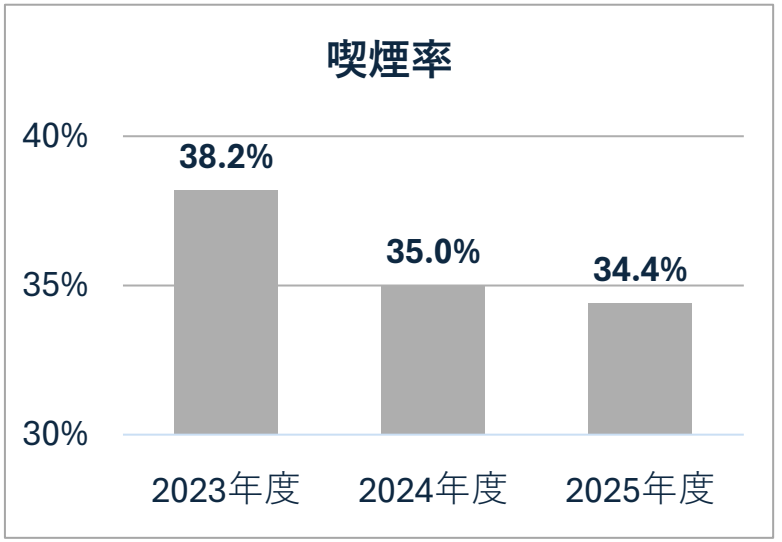
喫煙による健康リスクを減らすための活動

禁煙はがんをはじめ、様々な病気と関係しています。
禁煙したい従業員に対し、禁煙補助薬の購入補助をする等喫煙者が禁煙に取り組めるようにサポートをしています。

心の健康リスクを減らす活動

従業員が心身の不調を早期に察知し、適切に対処できるように、すべての基幹職にラインケア教育を実施しています。また、ストレスや不安は生産性低下や離職につながる可能性があり、職場全体のパフォーマンスにも影響するため、新たにリーダーとして役割を担う昇格者に対し、セルフケア教育を実施する等、安心して働ける職場環境づくりを促進しています。





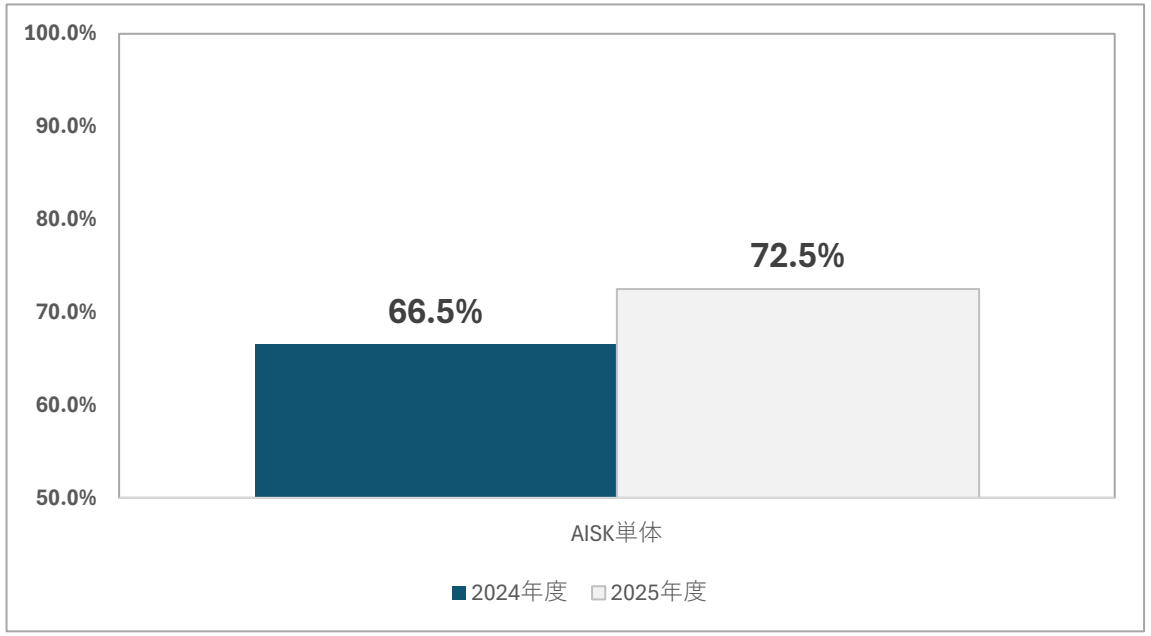
具体的な取り組み

プレゼンティーイズムへの対処

◇プレゼンティーイズムとは「健康問題が理由で生産性が低下している状態」

従業員健康意識調査にてプレゼンティーズムによる影響度を可視化しています。

プレゼンティーイズム測定による「80%以上仕事のパフォーマンスが発揮出来ている」割合



【調査方法】

・対象者：全従業員
・調査方法：年1回　従業員意識調査実施時に健康意識調査として「SPQ東大1項目版」を使用し測定
・設問内容：
「病気やけががない時に発揮できる仕事の出来を100%として過去4週間の自身の仕事を評価してください。」

AISIN
We Touch the Future